

## マーケットの動き (2022年10月31日～11月4日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

堅調な米国株式相場を受けて、国内株式は週初から上昇してスタートしました。2日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では市場予想通りに0.75%の利上げを決定したほか、FRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の会見を受けて金融引き締めが長期化するとの懸念が高まったことを嫌気し、米国株に連れて国内株にも売りが広がりましたが、週末には下げ幅を縮めて週を終えました。

## 投資環境見通し (2022年11月)

## 国内株式相場は底堅く推移

企業業績は、原材料価格の高騰や世界景気の先行き不透明感の影響が懸念されますが、供給制約の緩和による生産活動の回復、企業の想定為替レートを超える円安水準、全国旅行支援やインバウンド需要拡大による内需押し上げを背景に、堅調さを維持するとみています。国内株式相場は、世界的なインフレ継続による欧米の景気後退懸念といった不透明要因が下押し材料とみられますが、決算発表に加えFOMC（米国連邦公開市場委員会）や米国中間選挙といった海外イベント一巡後には需給環境が好転するとみられ、経済活動再開による内需押し上げを背景に底堅く推移する展開を予想しています。

	11月4日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,915.40	0.86%	0.45%	0.90%	▲6.82%
日経平均株価	27,199.74	0.35%	0.77%	1.42%	▲8.71%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

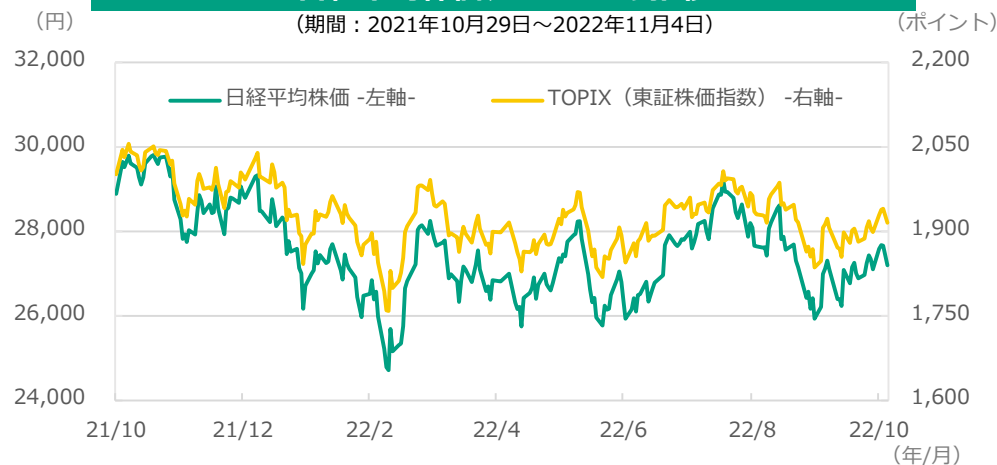
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202211\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202211_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

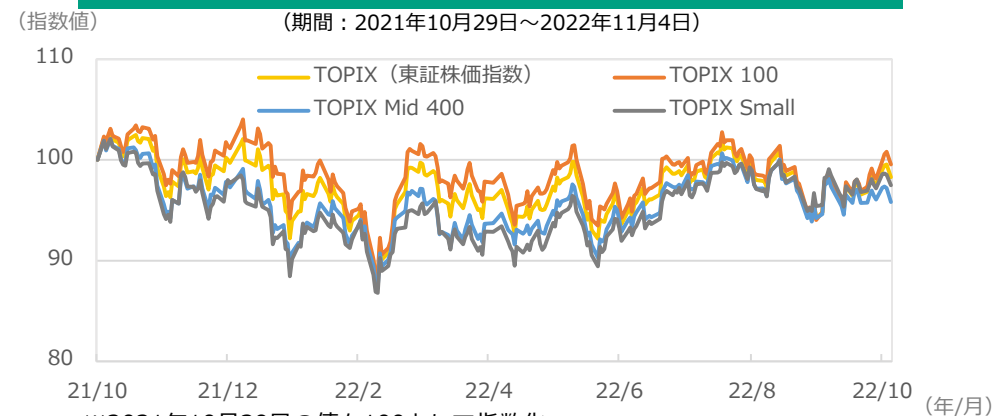
## 日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2021年10月29日～2022年11月4日)



## TOPIX規模別指数の推移

(期間：2021年10月29日～2022年11月4日)



※2021年10月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成